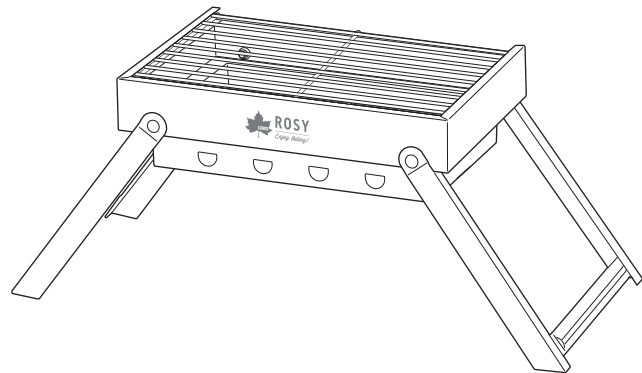




組立て・取扱説明書

ROSY イージークッキンググリル No.81064174

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく組み立ててください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、大切に保管してください。



※製品の仕様上、熱により塗装の剥がれや変色、変形が発生しますが、問題なくご使用いただけます。あらかじめご了承ください。
※使い始めは臭いが気になる場合がありますが、使用に伴い少なくなります。

■ご使用前に

- ① パーツ類の破損、溶接外れなどがないか確認する。
(破損が見つかった場合は使用しないでください)
- ② 革手袋などを着用する。
- ③ 消火用の水をバケツなどに入れておく。

組み立て方法

組み立て方法と注意をよく読み、番号順に正しく組み立ててください。
撤収は必ず逆順で行ってください。
パーツの形状やパーツの収納位置など、実際とは若干異なる場合があります。
使用する前にはしっかりと組み立てられているか、必ず確認してください。



注意



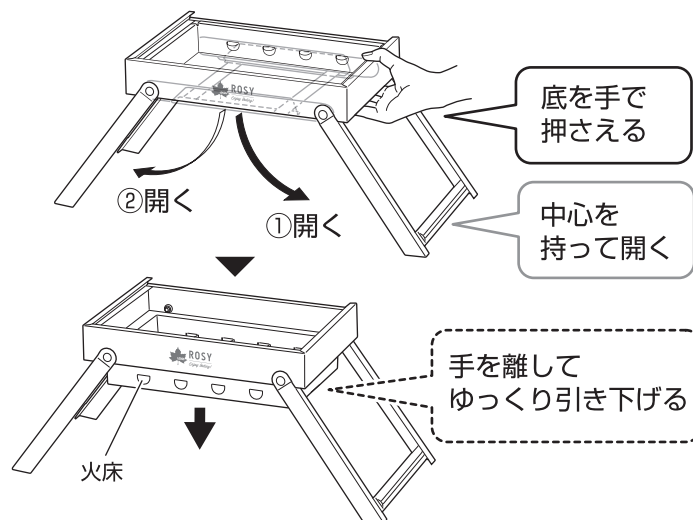
- 組み立て・撤収、着火・消火、調理、お手入れなどの際は、必ず革手袋を着用する。
(やけど、鋭利な部分でけがのおそれ)
- 洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。



- 組み立て・撤収時、可動部で指などを挟まないよう、注意する。

1 脚を開いて、火床を引き下げる

- 脚を開くと、火床が勢いよく下がるため、手で押さえながらゆっくり行う。
- 脚は確実に開ききる。



使用上の注意

- 事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。



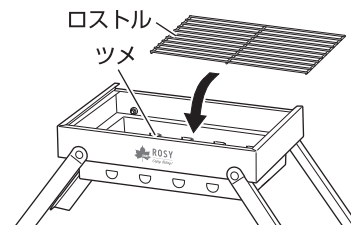
警告

火災のおそれあり

- ジェル状の着火剤を使用する場合は、ジェルがロストルの下に落ちないようにする。(火床側面の穴から地面にこぼれ落ちるおそれ)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しない。
- 本体側面の穴から炭などがこぼれ落ちることがあるため、焦げてもよい地面に設置する。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しない。
- 残り火の始末や灰の処理、撤収は、完全に燃え尽きて、本体や火床が冷えたことを確認してから行う。
- 灰の処理は、灰が地面にこぼれ落ちても問題のない場所で行う。
- 強風・雨天時は使用しない。
- 燃料を入れすぎない。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 起伏や傾斜がない地面に設置し、必ず安定した状態で使用する。
- 使用済みの炭を入れたまま、持ち運ばない。

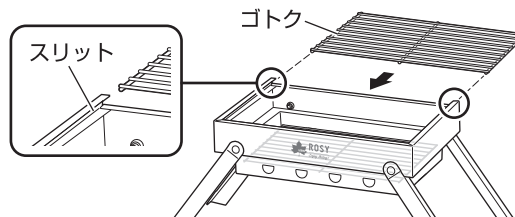
2 火床にロストルをセットする

- 火床のツメにロストルを確実に載せる。



3 ゴトクを差し込む

- 本体背面(ロゴが無い面)から、スリットにゴトクを差し込んでスライドさせる。



注意

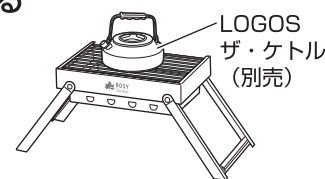
- スリットの角で指を切らないように注意する。

※熱によってスリットが変形し、ゴトクが差し込みにくくなる場合がございます。ご了承ください。

使いかた

■ゴトクの上に調理器具を置いて使用する

※ゴトクに直接食材を置かないでください。
(焼網ではありません)
※ゴトクを取り外し、市販の焼網を載せて調理できます。
その際は、本体より一回り大きい焼網を使用してください。
※ゴトクの耐荷重は約3kgです。
※ロストルは、荷重や熱によって変形する場合がございます。



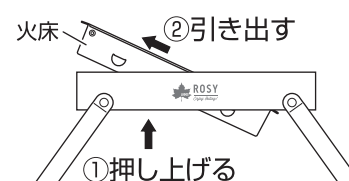
撤収方法

- 灰を捨てるときは、火床を下から押し上げて、図のように本体から取り外してください。
- 火床を本体に戻すときは、逆順で行ってください。



注意

- 火が消え、本体が完全に冷えたことを確認してから行う。



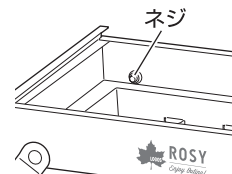
■ 誤った取り扱いや使用状況、保守管理および点検の不備などによる破損、損害、事故、経年変化などによる損傷・劣化・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
● 製品の特性上、あるいは使用場所、環境により製品強度が著しく劣化する場合があります。
製品を1年以上放置した場合は、必ず使用する前に傷や劣化のないことをご確認ください。
また、購入後2年以上経過した製品の安全は保証いたしかねますのでご了承ください。

やけど、けがのおそれあり

- 着火後は、本体を移動させない。また、絶対に素手で触らない。
本体底面が特に高温になるため、やけどに十分注意する。
- 着火後は、顔などを近づけない。また、燃えやすい物の周りで使用しない。
(炭がはぜたり火の粉などが飛ぶおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせない。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせない。
- 組み立て、分解、着火、消火、調理、お手入れ、片付けの際は、革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどに注意する。
- 本体に水をかけて消火しない。
(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため洗浄時は、ゴム手袋などを着用する。

Point

- 繰り返しの使用によって、脚部のネジが緩むことがあります。
その際は、本体内側のネジを手で締め直してください。
※きつく締めすぎると、脚がスムーズに開閉しなくなりますのでご注意ください。



燃料について

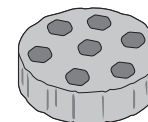


警告

- ジェル状着火剤を使用する場合、絶対に継ぎ足ししない。
(火災、やけどのおそれ)
- 使用前に、燃料のパッケージなどに記載の取扱説明書を必ず読む。

■LOGOSエコココシリーズ(別売)を使用する

- 別売のエコココログス・ラウンドストーブ2 (No.83100102) のご使用をおすすめします。
 - ① エコココログスを並べる
・ ロストルの上に置き、底と燃料の間に空気の通り道を作る。
・ 燃料とゴトクが接触しないようにする。
(ゴトクが差し込めないほど高く燃料を積み上げない)
 - ② エコココログスの取扱説明書にしたがって着火する



■市販の木炭を使用する

- ① 着火剤を置く
・ ロストルの中心に着火剤を置き、その上に空気の通り道を作りながら炭を積み上げる。
・ ジェル状着火剤の場合は、最下部の炭上に塗る。
また、地面にこぼれ落ちていないことを確認する。
- ② 着火する
・ 柄の長いライターなどで着火剤に着火する。
・ ジェル状着火剤の場合、着火後には絶対に継ぎ足ししない。
- ③ すべての炭が着火状態であることを確認し、ロストルの上にまんべんなく広げる

Point

- 炭は、ところどころ二重になるくらいが適量です。
- 備長炭の場合は、着火状態の木炭の上に備長炭を置いて着火してください。
備長炭は直接着火できません。
- 備長炭は着火時にはぜることがあるため、必ずゴトクで覆いながら着火し、離れて様子を見てください。

- 本体は熱により変形や変色、表面の剥がれなどが発生します。ご了承ください。
- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

Designed by
LOGOS CORPORATION

発売元:
株式会社 ログス コーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ ホームページ / www.logos.ne.jp
■ 全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com